

# 令和3年度の学校評価

## 1 令和3年度の重点目標学習活動の推進

- (1) 充実した学習活動の推進
- (2) 信頼され、人のために行動できる人材の育成
- (3) 望ましい未来像設計（フューチャーデザイン）の啓発
- (4) 健康で快適に学習できる環境づくり
- (5) 教員の働き方改革の推進

項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
行事 企画部	総務	<p>①PTA活動の円滑な運営と無理のない活動の推進。PTA会員の積極的な学校行事への参加。</p> <p>②防災に関する基礎知識を高め災害発生時に的確な対応・行動が実践できる人材の育成。</p> <p>③ホームページ、東高だより、学校案内、きずなネットを有効に活用し、保護者・地域・中学生に対する広報活動の活性化。</p>	<p>①学校行事の案内などをきずなネットで発信し、保護者への連絡が確実に届くようにした。</p> <p>②シェイクアウトを実施し、避難行動様式の確立を目指した。保護者に対しては、きずなネットに登録してもらい、緊急時の連絡体制を整えるようにした。</p> <p>③ホームページで学校行事の様子や生徒の活動など、タイムリーな情報を積極的に配信した。</p>
	特別活動	<p>①部活動の活性化。</p> <p>②稲東祭の充実。</p> <p>③奉仕活動の推進。</p> <p>④広報活動の充実。</p>	<p>①各学期末での部活動日誌の点検や顧問へのアンケートにより活動状況を把握し、部活動の再編に活用した。また再編に関しては、部顧問会議にて協議しながら顧問全体で納得感のある結論に達することができた。</p> <p>②生徒会執行部による司会や、稲東祭実行委員による舞台企画など、生徒の活躍の場を増やすことができた。また、感染症の状況に対応しつつ、適切な開催をすることができた。今後もさらなる充実を目標としていきたい。</p> <p>③学校周辺の清掃活動は感染症に配慮して中止した。交通安全マナーアップ作戦は生徒会執行部と保護者の方との連携が十分にできた。</p> <p>④「稲東だより」による本校の取り組みの発信や中学校体験入学での生徒会執行部による司会や学校紹介により、地域や中学生に本校の魅力を発信することができた。</p>
生徒 支援部	生徒指導	<p>①生徒相互・教員と生徒で心の通う人間関係の育成。明るく活力ある学校づくり。</p> <p>②基本的な生活習慣と生活規律を確立し、人から信頼され、社会で役立つような社会性の育成。</p> <p>③教員と保護者が連携を密にし、家庭の協力を得ながら、組織としての指導の確立。</p> <p>④安心安全な学校生活の確保のため、見守りや被害防止の啓発の推進。</p>	<p>①学校生活アンケートを面接週間前に実施し、アンケート結果を面接に反映させることで、初期対応を明確に行い、早期に把握し、対応をすることを心掛けた。また、生徒個々の特性を会議で情報共有することで、生徒個々にあった声かけや対応を適切に行うことができた。</p> <p>②遅刻の防止については、遅刻者に対する論説とともに、早朝登校の徹底を各学年で行い、時間に対する意識を養うことをおこなった。引き続き声掛けを行い時間への意識を持たせていきたい。</p> <p>③保護者への連絡や対応は学年・担任とともに連携して対応できた。また、教師相互の情報共有と組織的な指導体制の構築は、会議で情報を共有する機会を持ち学年団の協力を得て達成できた。</p> <p>④いじめの防止は学校生活アンケートを効果的に活用し、いじめに対する早期対応を心掛けた。また、学校いじめ対策委員会を開催し、情報共有を行い、早期対応ができた。</p>
	保健厚生	<p>①諸検診の円滑な進行。</p> <p>②教育相談体制の充実。</p> <p>③学習環境の整備・美化、ごみの減量、安全点検の推進。</p> <p>④心身の健康問題の早期発見・早期対応を図るための健康観察の充実。</p>	<p>①諸検診について、生徒支援部員が時間割変更を行い、進行をしっかりとサポートできた。来年度もこの方法で行いたい。</p> <p>②教育相談の方法に工夫を加え、スクールカウンセラーとの連携も密に取れ、個々の生徒への対応の検討を深めることができた。スクールソーシャルワーカーの活用を図っていきたい。</p> <p>③ごみの分別と持ち帰りを働きかけ、ごみの減量ははかった。新型コロナウイルスの影響により、各教室よりゴミ箱を撤去し各フロアに設置したことにより、ごみの量が減少した。</p> <p>④朝の健康観察を行い、生徒の健康状態の把握に努めた。個々の生徒の一日の状況や週の状況がわかり担任が保健室利用の状況も把握できて連携がとれている。</p>

項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
教務	<p>①生徒の学習への取組意欲を高める魅力ある授業づくり。</p> <p>②生徒の学習意欲を喚起できる考査の実施。</p> <p>③教務行事を通した生徒の主体活動の醸成。</p> <p>④校務支援システムの利用による教員の業務軽減。</p>	<p>①授業研究週間等を利用し、各教科へ言語活動や探究活動、ICTを取り入れた授業展開例などを提示し、授業方法・指導方法を共有できるようにする。</p> <p>②事前に生徒に評価方法を明示するとともに、考査時は教室の環境を整備を整える。考査資料の正確な作成に努める。</p> <p>③他分掌と協力し、スムーズな運営と、中学生に本校の魅力を印象づける行事を実施する。</p> <p>④システムの操作方法についての現職研修を実施する。</p>	<p>①先生方の協力により、教室環境整備は良好である。他校の取組や実践例を参考にし、探究活動やICTを取り入れた授業展開を充実させた。</p> <p>②生徒が考査に集中して臨めるよう先生方に協力していただいている。多様な生徒に対応した評価方法を見直ししていく必要がある。</p> <p>③他分掌と連携して行事を実施し、行事を通して在校生の活躍の場を作ることができた。</p> <p>④来年度から新しいシステムに移行することが決まり、操作方法やデータ移行を準備している。</p>
進路指導	<p>①望ましい将来像設計(フューチャーデザイン)の実現を目指した進路指導の確立。</p> <p>②進路検討会(3年)、補習・土曜学習等の充実。</p> <p>③生徒の適性に応じた試験制度の活用推進。</p>	<p>①進路講演会・進路総合の充実を図り、進路の手引きを有効に利用していく。模擬試験・検査を適切に活用し、事後指導を充実させる。</p> <p>②進路検討会では、適切な資料を用い、テーマをはっきりさせた上で、活発な議論ができるようにしていく。昨年度に引き続き積極的な補習等への参加を呼びかける。</p> <p>③生徒理解を深め、適性を考えた上で入試制度を活用する。就職や公務員試験に向けた指導も充実させる。</p>	<p>①進路総合において、外部講師を活用し、文章の書き方や看護の講座を実施した。全員受験の基礎力診断テストについては、事前・事後指導を行い、自己の学力や学習習慣について振り返りを行った。模擬試験については、全員が進路に応じた試験を受験するように働きかけ、多くの生徒が受験した。</p> <p>②進路検討会では、教員間で生徒の進路希望について共通理解を深めた。補習については教員の声掛けで多くの生徒が最後まで受講することができた。低学年においても積極的に参加できると良い。</p> <p>③それぞれの進路希望と高校生活の取組に合わせて試験制度を活用した。進学・就職ともに個別指導が必要であり、学年を超えて教員全体で指導した。</p>
第1学年	<p>①基本的な生活習慣の確立。</p> <p>②学びの構えの定着と学習習慣の確立。</p> <p>③主体的な進路選択。</p> <p>④部活動、行事への積極的な参加。</p> <p>⑤学習環境の整備。</p>	<p>①時間を守る、挨拶をする、身だしなみを整えるなど、基本的な社会生活を丁寧に指導する。</p> <p>②授業規律を明確にして、統一した指導を行う。生活の中に学習を習慣づける仕組みを用意する。</p> <p>③卒業までを見通した進路指導を行う。基礎学力を身につけ、自分らしさへの気づきを積み重ね、キャリアをイメージさせる。</p> <p>④部活動や学校行事に積極的に参加させ、充実感や達成感を得られるよう指導する。帰属意識の醸成を図る。</p> <p>⑤教員が日常的な環境整備を率先し、日々の清掃活動を丁寧に指導する。</p>	<p>①挨拶や、集会への集合など校内での活動はほとんどの生徒が意識できている。しかし、朝の遅刻が多い生徒がいるため、生活習慣については家庭と連携、協力しながら継続して指導していきたい。</p> <p>②授業は落ち着いた雰囲気で行えているが、家庭学習の習慣は身につけていない。課題などを通して学習習慣を身につけていきたい。</p> <p>③文理選択や、進路選択について少しずつではあるが自分の適性を知ることができた。今後は具体的な選択肢を留意していく段階へいきたい。</p> <p>④文化祭では各クラス創意工夫をこらした活動ができていた。しかし一部ではクラスに貢献する意識をもって活動できていない生徒もいたため、役割を与えながら充実感を持たせたい。</p> <p>⑤年度当初から各クラス担任で教室の清掃をはじめ、自クラスに対する環境整備の意識を持つことができた。また、毎日の分割清掃においても教員が短い時間で清掃できるよう工夫して役割を与えることができた。</p>
第2学年	<p>①基本的な生活習慣の確立と集団規律の維持</p> <p>②学びの構えの定着と学習習慣の確立</p> <p>③主体的な進路選択</p> <p>④部活動、行事への積極的な参加</p> <p>⑤学習環境の整備</p> <p>⑥修学旅行の成功</p>	<p>①基本的な生活習慣を確立、維持させて中核学年としての意識を持たせ、集団規律を保つよう求める。</p> <p>②授業を大切にさせ、課題など、授業以外の学習習慣を確立するよう促す。</p> <p>③主体的に進路目標を立て、目標達成のための具体的な行動をとることができるよう指導する。</p> <p>④部活動や学校行事の中で、充実感や達成感を得て、帰属意識の醸成を図る。</p> <p>⑤教員が率先して環境整備を行うことで、清掃活動を徹底させる。</p> <p>⑥達成感や充実感を持たせ、自己有用感を高くする。</p>	<p>①朝のSTや授業など学校生活のあらゆる場面で指導をしてきた。まだまだ遅刻の多さが目立つ生徒もいるので、引き続き指導していきたい。</p> <p>②授業は概ね落ち着いていた。課題に関しても居残り指導等が定着しており、提出状況も良好である。家庭学習の少なさが課題である。</p> <p>③まだ具体的な目標を持って行動できる生徒は多くはない。今後も進路総合等を利用し進路意識を高められるように指導していきたい。</p> <p>④活動している生徒は熱心に取り組んでいるが、部活動への参加率は低い。学校行事に関しては楽しく参加できたのではないかと感じる。</p> <p>⑤身の回りを整頓することの大切さを今後も伝えていきたい。</p> <p>⑥参加した生徒は充実した修学旅行になったのではないかと感じる。</p>
第3学年	<p>①自己有用感と自己肯定感を涵養する。</p> <p>②他者への尊敬と思いやりの精神を養う。</p> <p>③最高学年としての自覚を持たせる。</p> <p>④集団の規律を維持する。</p> <p>⑤主体的な進路実現を目指す。</p>	<p>①学校の中で、生徒それぞれに役割を見つけていることができるよう働きかけ、経験を成長につなげる指導をする。</p> <p>②視野を広げ、社会を理解させることで、他者の存在を意識し、尊敬の念を育むよう指導する。</p> <p>③学校の模範として、充実した学校生活を送ることができるよう働きかけた。</p> <p>④常に正しい身だしなみを意識させ、責任を持った行動ができるよう指導する。</p> <p>⑤多くの情報を発信して意識の高揚を図り、早い段階から準備を促すことで自信を持って試験に臨むことができるよう指導する。</p>	<p>①日常の表情から充実感を持って学校生活を送るとともに、自らがどのような形で社会で活躍するのかのイメージを持ちつつあるように感じる。</p> <p>②授業や授業外でも自ら進んで他者の助けとなるように行動する姿が見られる。その一方で、動き出しの鈍さを課題に感じる。</p> <p>③部活動や学校行事を中心に、最高学年として後輩を牽引する姿が見られた。</p> <p>④まだまだ教員からの声掛けを必要とするが、身だしなみを整えようとする意識は感じる。</p> <p>⑤担任や進路指導主事と面談を複数重ねて、自らの進路実現に向けた準備を進めた。準備を行うことがまだまだ遅く感じるが、努力を見せた。</p>

## 2 学校関係者評価委員会でのご意見

### 【令和3年度学校教育活動について】

- ・2年続けてコロナウイルス感染症の影響で、日々変わる対応に生徒が困惑したと思います。適切な学びを提供できたかは今後の課題として表れてくると思いますが、工夫し教育活動が進められたと思います。
- ・感染対策に苦慮し、授業に影響が出ているが、ICTを活用し学びの場を確保して進めてほしい。
- ・様々な行事が中止、変更になり残念である。この機会に各行事の目的をもう一度考えることが大切である。
- ・様々な学力の生徒がいると思うので、ぜひ「個別最適な学び」をめざし、授業改善を一層すすめてほしい。
- ・地域の方が目にする、「境界なき清掃団」が2年続けて中止になったのは残念である。
- ・人数が少ないからこそ、「一人一人が主役」といった行事や委員会活動により少人数グループや個人にスポットライトを当てて、主体的に行動できるように、また、自己肯定感が高まると良いと思います。
- ・遅刻を含めた。生活態度にしっかりと対応し、地域に誇れる生徒の育成が求められる。
- ・減少する生徒に対しての行事運営の工夫や配慮が必要である。
- ・ローソンの店外で座り込んでいるのをよく見かけます、継続した指導をお願いしたい。

### 【進路状況について】

- ・生徒数の違いから見れば近年の変化は大差がないように思うが、その他（フリーター等）の数が減少したことは喜ばしい。
- ・令和3年度の実績を今後も反映してほしい。
- ・多様な進路でよいと思う。
- ・先生方のバックアップの成果と感じます。

### 【部活動・稲東だよりについて】

- ・部員数も気になるところだか、大会に出場するモチベーションの維持が大変では。
- ・高校生活の思い出となるよう用具、施設の維持をしてほしい。
- ・少ない人数でも活躍できており、立派であります。
- ・団体競技は厳しさを感じます。
- ・レスリング部の活躍は素晴らしいと思います。
- ・新聞で学校名を見ると頑張っているんだと感じます。
- ・「稲東だより」を通しての地域とのコミュニケーションは継続してほしい。

### 【令和6年度閉校に向けて御意見】

- ・令和4年度入学生が充実した学校生活を過ごせるように学校運営をしてほしい、
- ・決定事項なので受け止めるが、閉校時には立派に送り出し、すべての関係者で集まりたい。
- ・閉校までの情報発信をもっとおこない、在校生、卒業生、教職員等すべての関係者へ思いを再構築させて閉校を迎えてほしい。
- ・令和7年度以降の校舎、跡地はどうなるか教えてほしい。